

# 熊取町議会委員会会議録

## 環境施設広域化調査特別委員会

平成31年1月9日開催

熊 取 町 議 会

目

次

[環境施設広域化調査特別委員会]

し尿処理広域化に伴う経費負担について .....	1
その他 .....	5

## 環境施設広域化調査特別委員会

月 日 平成31年1月9日(水曜)招集

場 所 熊取町役場北館3階大会議室

出席委員	委員	長	文野慎治	副委員	長	坂上昌史
	委員		渡辺豊子	委員		矢野正憲
	委員		河合弘樹	委員		江川慶子
	議長		坂上巳生男			
欠席委員	委員		浦川佳浩			
説明員	町長		藤原敏司	副町長		中尾清彦
	企画部長		南和仁	総務部長		林利秀
	住民部長		藤原伸彦	住民部統括理事		吉田潔
	環境課長		島尾学			
事務局	議会事務局長		北川雄彦	書記		藤原孝二

### 付議審査事件

- 1) し尿処理広域化に伴う経費負担について
- 2) その他

委員長(文野慎治君)皆様方には、本特別委員会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。

本日の審議に当たりましては、議会委員会条例第19条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めています。

ただいまの出席委員は6名であります。浦川委員から欠席の届けがありましたので、ご報告いたします。定足数に達しておりますので、ただいまから環境施設広域化調査特別委員会を開会いたします。

(「15時00分」開会)

委員長(文野慎治君)なお、発言をされる方は、必ずマイクを使っていただきますようお願いいたします。

本日の案件でございますが、し尿処理広域化に伴う経費負担についての件であります。

それでは、本件について説明を願います。島尾環境課長。

環境課長(島尾学君)それでは、し尿処理広域化に伴う経費負担についてご説明いたします。

平成30年1月の当特別委員会でご説明いたしました熊取町のし尿等の受け入れに係る泉佐野市田尻町清掃施設組合の設備改修費用負担割合について、組合、泉佐野市及び田尻町と協議をしてまいりましたが、一定の合意が得られましたので、これで進めさせていただきたいと考え、ご説明するものでございます。

1、事務費負担についてですが、本町のし尿処理を受け入れることにより処理量の増に伴い処理方法の見直しによる設備改修が必要になってきますが、この設備改修に係る事務は組合にしていたくこととなりますので、事務費相当分について、熊取町に負担を求められているものでございます。

費用負担の考え方は、組合の議会費・総務費相当分と、事業所人件費相当分について、し尿処理事業費に占める工事費の比率分の負担を工事期間となる平成31年度と32年度の2カ年にわたり求められているものでございます。

組合の経費の支弁方法として、組合格約では、組合議会その他総務に関する経費は人口割、し尿

処理場の維持管理に関する経費は搬入量割と定められており、同様の考え方により、議会費・総務費については人口割、事業所人件費相当分については搬入量割で算出したものでございます。

この試算は、平成29年度の決算ベースで算出しており、実際の負担は当該年度決算で算定いたします。

なお、2カ年の比率につきましては、2年間の工事期間となりますが、その支払いの割合で40%と60%ということになっております。

続きまして、2でございます。設備改修費については、前回の特別委員会でもご説明いたしましたが、組合の詳細検討により変更点がございます。

まず、前回は消費税8%で算出しておりましたが、今回は10%で算出しております。

まず、脱臭設備改修については全額負担を求められておりましたが、老朽化対策も含まれるということで協議を重ねた結果、搬入量割で1市2町の負担とし、6,480万円から1,234万2,000円となっております。

機器・配管設備改修につきましては消費税率の変更のみでございます。

次に、高度処理設備改修ですが、当初予定していた改修では、能力的に不十分であることがわかったため、費用が9,180万円から1億7,600万円と大幅に増額となりましたが、これは詳細な検討により見直しがあったもので、理解を求められたものです。

電気・計装設備改修につきましては、消費税率の変更によるものです。

トラックスケール設置につきましては、その後、埋設物調査をしたところ、地中障害物が残置されている撤去費用も求められましたが、この費用につきましては熊取町の責任ではないことから、消費税率の変更のみとなっております。

総額としまして3億934万2,000円となったものでございます。この総額に対して90%の起債充当が可能で、元利償還金の50%が交付税措置されることから、15年の償還として平均を算出しますと、実質的な負担は1年当たり944万6,000円となります。

3、維持管理費についてでございますが、これは今後協議することとなっておりますが、現時点の提案として、熊取町を受け入れることとなる処理方法の変更に伴う増額分は、熊取町が全額負担するよう求められています。現在示されている金額は概算であり、仮に熊取町が負担するとすると3,026万円、その他維持管理経費としてお示ししているのは、平成29年度の組合決算ベースの処理単価から搬入量割で熊取町が負担するものとした場合を算出しております。総額として1億416万6,000円でございます。

これ以外に、事務委託開始後における事務費の負担については、現在、泉佐野市、田尻町及び組合で検討されていますが、結論には達しておりません。

維持管理費については、事務費を含めて来年度以降の協議とし、まず設備改修費の負担額を今年度中に確認し、平成31年度から工事着手し、平成33年度から広域化していきたい意向でございます。

4、経費比較でございますが、大原衛生公苑の運営費用を平成29年度決算額1億6,361万9,000円に、職員2名の人件費相当分1,400万円を加え、1億7,761万9,000円、これを①とします。これに対して広域化後の経費として先ほどの3、維持管理費についてというところで算出した概算値1億416万6,000円に起債償還金15年の平均額944万6,000円を加えた1億1,361万2,000円、これを②といたします。①から②を差し引きまして、広域化後の効果額を算出しますと、1年当たり6,400万7,000円となります。

なお、効果額には今後の交渉事項である事務費、運搬距離延伸による収集運搬委託料の増額は考慮しておりません。

5、経過と今後のスケジュールでございます。平成29年7月に3首長と関係職員による会議を設けまして、遅くとも平成33年度からの広域化に向け協議していくことを確認いたしました。9月に議員全員協議会でし尿処理の広域化事務委託について、案ということでご説明いたしました。12月に組合と覚書を締結し、翌年1月に特別委員会で環境施設広域化についての検討結果と今後の対応

についてご説明いたしました。そして現在、し尿処理広域化に伴う経費負担について当特別委員会でご説明しているところでございます。

この後、設備改修の工事負担を決定いたしまして、4月からは工事負担に係る協定書の締結と維持管理費の負担割合の検討をいたします。平成31年度と32年度は組合受け入れ工事期間となっております。平成32年度には規約を議決いただきまして、平成33年度から組合へ事務委託を開始し、あわせて大原衛生公苑の取り壊しに向けた事務作業を開始いたします。

6、その他といたしまして、将来的には各設備の更新等の経費が必要となってきます。現時点で曝気槽の改修工事、概算で2億1,450万円でございますけれども、これを把握しております。搬入量割で実施すると仮定いたしますと、熊取町としては概算で4,011万1,000円の費用負担が生じますので、ご報告をいたします。

説明は以上でございます。

委員長（文野慎治君）以上で説明を終わります。

それでは、質疑を行います。質疑はありますか。坂上昌史委員。

委員（坂上昌史君）4番のところ、これ何回も聞いているかと思えますけれども、効果額のところで含まれていない事務費と運搬距離の延伸の費用、大体ざっくり幾らぐらいを想定しているのかというのは、今、熊取町のほうで数字を持っていたら説明をお願いします。

委員長（文野慎治君）島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君）事務費なんですけれども、これについては先ほど説明いたしましたけれども、泉佐野市、田尻町、組合で協議をされておりまして、その中身についてまだお決まりになっていないという段階で、私どももどのような想定になるのかというところでございます。収集運搬委託料につきましては、現在、約3,000万円の委託料でございますけれども、前回にも約3,000万円ぐらいをアップパーとして考えているというようなことをお答えしたかとは思うんですけれども、それぐらい、3,000万円以下では何とかあるんじゃないかというふうに考えております。

委員長（文野慎治君）ほかに質疑はありますか。渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）今、収集運搬委託料が3,000万円以下になるであろうということの答弁でしたけれども、それは委託業者との協議になるわけですね。業者にすれば、収集先が遠くなるわけですね、持っていく先が。そういうところ等考えたときに、それがそれ以下になるところの考え方がちょっとわからないんですけれども。

委員長（文野慎治君）島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君）私ども独自の設計というのを持っております。その中で、今考えておりますのは、まだ詳細なところを詰めたわけではないんですけれども、当然、距離が延伸するというので、まず一番考えやすいのは、今、大原衛生公苑全て持ってきておるんですけれども、それを泉佐野市、田尻町のほうへ持っていくとするとという仮定をしまして、往復で約1時間かかるんじゃないかというところ、現在1車ですけれども、1車が回れるのは約7回、回れています。それが1回ごとに1時間加算されるということで、3回から4回ぐらいしか行けなくなるんじゃないかという想定をしますと、今、約3,000万円かかっているものが倍程度かかる可能性があるよという考え方で、今、3,000万円以下になるんじゃないかというお示しをしたわけでございます。これはあくまでもふえる分でございます。今現状が3,000万円ぐらいの契約金がございます、それプラス3,000万円ぐらいになるんじゃないかという想定でございます。

委員長（文野慎治君）渡辺委員。

委員（渡辺豊子君）わかりました。私、アップパー3,000万円と言っていたから、それ以下になるというふうにちょっと勘違いしていました。それ以上に、倍ぐらいになるというところで見積もっているところですね。わかりました。

それと、今、坂上委員が言われたところで、事務費につきましては田尻町と泉佐野市で協議しているところなんですけれども、今、田尻町と泉佐野市の事務費負担は人口割でやっているん

ですか、事務費は。その同じ考え方でいく方向じゃなくて、検討しているということなんですか。  
委員長（文野慎治君） 島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君） 現行でかかっておりますものにつきましては、先ほど説明させていただきましたとおり、人口割ということで泉佐野市と田尻町は負担されております。今、我々が事務委託していただくことによって事務費も含めてというのは、事務費の考え方、それ自体がまだ泉佐野市、田尻町、組合でまともっていないという段階ですので、どういう想定になるか私どももわからないというところで、なぜかと申し上げますと、やはり泉佐野市、田尻町にすれば、熊取町が入ったことでコストアップになるという説明はなかなか難しいのかなと。当然、私どもが入りますと設備更新したりせなあかんわけですけれども、設備を新しくしますと、その設備にまたこれから維持管理がかかってまいります。例えば薬品代であったり、補修、定期点検であったり、そういうものがかかってまいりますので、当然、泉佐野市と田尻町の負担も今までの処理単価よりは上がってくる方向になります。しかしながら、泉佐野市、田尻町とすれば、熊取町を迎え入れたことによって今までいけていた費用よりも高い処理単価になってくるものですから、そこはある一定熊取町も費用負担していただけないかというような考え方をお持ちのようです。ですので、どういう負担を求められるかというのは、私ども詳しいことはわかっておりませんが、ある程度の負担をしていただけないかというような提案を受けているというような状況でございます。

委員長（文野慎治君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） そのこの話し合いの中には、熊取町は入れないというところなんですか。

委員長（文野慎治君） 島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君） ここにつきましては、当然、これから来年度以降ということで説明させていただきましたけれども、31年度に詰めてまいりたいというふうに考えております。

委員長（文野慎治君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） では、町としての希望も少しは中で意見は言えるというところですね。人口割といっても、全部が全部そちらのほうにいつているんじゃないので、やっぱり搬入量割というか、そういうことも入れながら、ある程度町も負担をしていかないといけないというところの、町としての考え方はあるんですか。ちょっとそれを教えてください。

委員長（文野慎治君） 島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君） 私どもの考え方をということであれば、当然、搬入量割にさせていただきたいというところではあるんですけども、先ほど申しあげましたように、搬入量割ということにしますと、当然、泉佐野市、田尻町の負担というのは上がってまいります。ですので、そのバランスをどうとるかというような交渉になるかというふうに考えております。

委員長（文野慎治君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） それはいつごろ結論が出そうなんですかね。

委員長（文野慎治君） 島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君） 今のところ、31年度中に、事務委託していただくのは今のところ33年度4月からというふうに考えておまして、最悪、そこまでには必ず決めなくてはならないんですけども、今のところ、31年度中には決めたいということで、泉佐野市と田尻町とお話をしているというような段階です。

委員長（文野慎治君） 吉田住民部統括理事。

住民部統括理事（吉田 潔君） 先ほど、事務費に対しての町の考え方ということで、考え方につきましては、一つの考え方として先ほど課長が説明したとおりなんですけれども、もう一つといたしましては、事務費につきましては、負担にならないようにしていきたいというのが一つの考え方でございます。ですので、相手のほうも必ず求めるというのが、まだ、意見がまともっていないといういろいろな考え方がございますので、まともっていないというのが現実のところでございます。もし事務費を求めるということでありましたら、その理由、それからそういう計算の仕方、そういう

ことをきっちりと説明していただいて、納得できるものであればのんでいきたいし、納得できないものであれば交渉はしていきたいというふうには考えているところでございます。

委員長（文野慎治君） 渡辺委員。

委員（渡辺豊子君） わかりました。何回もすみません。組合と一緒に入ってだったら事務費の負担というものも考えられるかわかりませんが、一応事業委託という形ですものね。ですので、その辺のところの負担はどうかというところのスタンスで言っているということですね。理解できました。

委員長（文野慎治君） よろしいですか、はい。

ほかに質疑はありませんか。河合委員。

委員（河合弘樹君） 施設取り壊しの見積もりというのは上がっているんですか。

委員長（文野慎治君） 島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君） そこまではまだ上がっておりません。一般的にということでお聞きしたことはあるんですけども、これは1億円から2億円と、すごく幅があるようなお答えしかできないということでございます。といいますのは、どこからどこまでどういうことをするのかというのを詰めていかないと、細かい費用は出ないということを知っておりますので、今のところ聞いておりますのは1億円から2億円というざっくりとした金額でございます。

委員長（文野慎治君） 河合委員。

委員（河合弘樹君） ありがとうございます。

その解体した後の使い道というのは、土地の利用は何かあるんでしょうか。

委員長（文野慎治君） 島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君） すみません、申しわけありませんけれども、そこまでは現状のところ、まだどうなるかというのは決まっていないというのが現状でございます。

委員長（文野慎治君） 河合委員。

委員（河合弘樹君） 売却の予定とかもあるんですかね。

委員長（文野慎治君） 島尾環境課長。

環境課長（島尾 学君） そこも今のところ決まっていないということでお答えするしかないという状況でございます。

委員長（文野慎治君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

ないようです。

以上で質疑を終了いたします。

これをもって、し尿処理広域化に伴う経費負担についての件を終了いたします。

以上で本日の案件は終了いたしました。

---

委員長（文野慎治君） その他、何かご報告等があれば承ります。ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、以上で環境施設広域化調査特別委員会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

---

（「15時22分」閉会）

---

以上の委員会の次第は議会事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するため、ここに署名する。

環境施設広域化調査特別委員会委員長

文野慎治